

令和2年度社会福祉法人友好福社会事業報告

理事長 長岡 均

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全ての事業が中止や延期、縮小や内容変更となりました。加えて利用者は、こむぎ保育園では登園自粛期間があり、麦の家では家族等との面会制限、外出制限が今も続いています。

職員の勤務はテレワークやグループ分け勤務になりましたが、利用者の毎日を守りながら、かつ、自身の生活でも感染予防に徹し過ごした1年間でした。

コロナ禍、経験したことのない日常や緊張と不安の中で、移動の自粛、集うのも自粛、会話は控える等、ストレスを発散することも出来なかったのではないのでしょうか。

ですが、お陰様で両事業所の関係者から感染者の発生がなく過ごせたことは何よりでした。家族も含めて、関係するすべての方が意識して感染予防に努力したことによるものと感謝します。

コロナ禍がこの先どれだけ続くかは分かりませんが、当分の間、新しい日常を過ごすことになりそうです。令和3年度事業計画は実施できる環境があることを前提に立てさせて頂きましたが、その際には今年度分まで楽しく過ごせたらと考えています。